

編集後記

保健医療学学会は、狭義のリハビリテーションにとどまらず、人の生活に関係する多くの専門領域の研究交流の場として、また、その成果をもって社会に貢献することを目的として、設立されています。

第9巻2号には、Report1編、原著論文4編、症例研究1編が掲載されており、その内容は、作業療法士によるセミナーの効果、言語聴覚士の就業調査、腱反射を出現させる条件、理学療法教育におけるGPAの有用性、理学療法臨床実習成績の要因、マラウイ共和国での症例研究など多岐にわたります。また、総説として、カンナビジオールの治療効果と機序、アロマセラピーのリハビリテーションへの応用、摂食嚥下リハビリテーションの動向、言語流暢性課題の有用性について、それぞれの分野の最新の知見がまとめられ、示唆に富んだ4編が掲載されています。

このように多くの研究者や実践者がそれぞれの専門領域から論文を発表している本号は、まさに保健医療学学会の設立の目的に合致した機関紙であると感じます。ぜひ、ご自身の専門領域以外の論文もご一読いただき、知識の交流の場としてご活用ください。

岩田 晃（大阪府立大学）